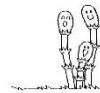




## その子にできる一歩から



新しいステージへ進む季節になりました。  
新しい環境への期待は大きいものの、緊張  
や不安はつきものです。

何か新しいことに挑戦するとき、始める前  
から「自分にはどうせできないから…」とあ  
きらめる言葉を子供から聞くことがあります。  
親にとってはなんだか残念な気持ちです。そ  
して、励まそうとするあまり

「大丈夫だよ、がんばれ」

「きっとできるからやってみたら」

と背中を押す言葉を言ってしまいます。もち  
ろん、この言葉でやる気になる子供の場合  
はOKです。

しかし、本人から見たときに大きすぎる目  
標に思えたら、「自分には到底無理」と思うのは当然かもしれませ  
ん。何事にも慎重な子や先回りして  
いろいろと考えてしまう子は、なおさ  
ら不安になってしまいます。そんなと  
きには、その子が「それならできそ  
う」と感じられる、最初の一歩を設  
定してあげるのはどうでしょう。

「まずは一つだけやってみよう」

「じゃあ、今日は5分だけやってみよう」

と声をかけてみるのです。コツは最終的な目  
標に近づく小さな一歩を設定することです。  
そうすれば子供も「それぐらいなら…」と前  
向きに気持ちが変わってくるかもしれません。

そしてその一歩に挑戦できたら、

「挑戦できたね」

「わー、よかったね」

と、達成できたことを一緒に喜びましょう。

その一歩一歩が「自分にもできるかもしれ  
ない」と、前向きにとらえる力とやる気を育て  
ます。

親としては、そんなことで目標達成できる  
のか不安になるかもしれませんが、しかし、こ  
れまで努力したけれども結果に結びつかな  
かったという経験や、誰かから「あなたには  
できないから、やめておきなさい」というメッ  
セージを繰り返し伝えられてきた子は、挑戦  
する気力を失って「何をやってもうまくいか  
ない」と思い込んでいる可能性  
があります。

まずは、「失敗することはあな  
たの能力不足の問題ではない」  
と伝えることです。そして、練習を  
したり、別のやり方でやってみた  
りすると、うまくいくことを体験させ  
ることが大切です。小さな一歩一  
歩をクリアして、成功体験を積み

重ねることで、「自分の努力でよい結果を生  
んでいる」という気持ちが生まれてくるので  
はないでしょうか。

参考資料：日本ポジティブ教育協会代表 足立啓美著

「子どもの心を強くする声かけ」主婦の友社

